

浜松市立水窪中学校 山田蒼太
浜松市立佐久間中学校 川治結唯

1 テーマ

ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びについて（2学年 外国語科）

2 テーマ設定の理由または、課題

水窪中・佐久間中は全学年単学級です。2学年に在籍する生徒は、水窪中4人、佐久間中7人と少人数のクラスです。外国語科の授業では、生徒一人一人への理解度の把握や生徒に合った支援がしやすいなどの良い点もありますが、コミュニケーション活動を行う上で、生徒数が少ないことによる制約があり、多様な考えに触れる機会が少ないことが課題だと考えます。この状況から、今年度はICTを活用して近隣中学校との交流を行い、多様な考えに触れる機会を設定し、協働的に学ぶことができる授業へと改善を進めていきます。

3 実践内容

7月に水窪中と Meet でリモート合同授業を行いました。1学期、2学期に各1回ずつの合同授業を計画しており、第1回目は自己紹介をクイズ形式にして交流をしました。



< 水窪中学校 >



< 佐久間中学校 >

4 成果と課題

普段会えない相手と Meet を通して交流することに新鮮さを感じながら、積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒の姿が見られました。実際に英語を使って、相手からのリアクションがあることで「伝わった」という体験を味わえることができました。また質問をする場面では、言いたいことがうまく言えなくて困っている様子もありましたが、どのように伝えればよかったのだろうと次回への課題を見つけることもできました。

2学期は協働的な学びを目指し、教科書のゴールアクティビティを使って話すこと（発表する）の活動を予定しています。お互いの考えを伝え合い、多様な考えに触れることができる活動づくりを行っていきます。